

令和４年１２月新見市議会定例会
日程第４（市長の行政報告について）

市 長 行 政 報 告

本日、１２月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆様方にはご多用のところをご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

行政報告に入ります前に、一つご報告をさせていただきます。

昨日、一般社団法人「日本地域情報振興協会」主催の日本地域情報コンテンツ大賞表彰式が開催され、本市の観光パンフレットが、観光部門でトップとなる「観光庁長官賞」を受賞いたしました。コンセプトやデザインの表現力などが評価されたものと考えており、交流人口の拡大に向け、このパンフレットを活用するなど、あらゆる機会を通して更なる情報発信に努めてまいります。

それでは、前回の市議会定例会以降の主な事項について、報告をさせていただきます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。

新型コロナウイルスの感染者は、全国的に増加しており、備北保健所管内においても増加傾向に転じている状況です。

ワクチン接種につきましては、９月２８日からオミクロン株対応ワクチンの接種を開始し、１１月１７日からは、生後６か月から４歳までの乳幼児を対象とした接種を開始しております。

今年の冬は新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されております。引き続き、手洗い、換気、消毒、不織布マスクの適切な着用など基本的な感染防止対策の徹底とワクチンの早期接種を推進してまいります。

次に、燃料などの物価高騰対策についてであります。

電力・ガス・食料品等の価格高騰により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対して、１世帯あたり５万円を支給する「価格高騰緊急支援給付金」事業につきましては、システム改修など必要な準備が整いましたので、手続きをいただいた世帯から速やかに支給を行ってまいります。

農業畜産分野では、肥料及び飼料価格の急激な高騰などにより、厳しい経営環境に

置かれている市内の農家の皆様を支援するため、「肥料高騰対策支援事業」と「畜産飼料高騰対策支援事業」を実施しております。現在、多くの申請をいただき、速やかに支給を行っております。

続きまして、分野ごとの主な事項について報告をさせていただきます。

まず、「産業・経済」についてであります。

今季初の国内発生となる高病原性鳥インフルエンザが１０月２８日に倉敷市において発生し、その後続発している状況であります。本市におきましても、いつ発生してもおかしくない状況であるため、市内の各養鶏場へ防疫用消石灰を１１月１日に配布したところであります。さらに、万全の体制を整えるため、職員に対する家畜防疫対策研修会も実施いたしました。

１０月６日から鹿児島県で開催された「第１２回全国和牛能力共進会」に岡山県の代表として、本市から７頭が出品され、新見高等学校が優等賞４席を受賞するなど、優秀な成績を収めました。本市の特産品である千屋牛の更なる増頭を進めるため、先の議会において議員から提案のありました「千屋牛増頭奨励金交付要綱の改正」につきましても関係機関と協議を行った結果、奨励金の対象に自家保留牛を加えることとし、現在準備を進めております。

林業振興につきましては、本市林業の成長産業化の実現を目指して、「未来へつなぐ新見の林業会議」を１０月３１日に設立いたしました。今後は、専門部会の設置や本市森林ビジョンの策定などに取り組んでまいりたいと考えております。

オリジナルＩＣＯＣＡ事業につきましては、１０月２４日から運用を開始いたしました。運用開始の前日には、新見駅で市内の園児によるＩＣＯＣＡカードのぬりえを展示するなどの啓発イベントを実施し、ＰＲに努めたところであります。

また、ＩＣＯＣＡの利便性向上につきましては、先の議会において議員からも質問があったところでありますが、チャージ機をＪＲ新見駅やコンビニに加え、千屋郵便局、井倉郵便局、豊永郵便局、刑部郵便局、野馳郵便局、万歳郵便局、にいみプラザ、フレスタ新見店に設置いたしました。

今後も引き続き、オリジナルＩＣＯＣＡの加盟店を増やし、買い物の利便性を高めることにより、多くの市民の皆様に利用していただくことで、地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。

次に、「安全・生活基盤」についてであります。

防災につきましては、１１月２７日に新見公立大学で、本市職員と自主防災組織の

役員などが参加して、避難所の開設・運営やスマートフォンを利用した災害情報収集の訓練を行い、災害時の連携体制の強化や防災意識の高揚を図ったところであります。

消防・救急につきましては、新たに無人航空機ドローンを導入するとともに、操縦士3名の養成を行うなど、来年1月からの運用開始に向けて準備を行っております。ドローンは全国各地の消防本部に数多く導入され、災害時に活用されるなど実績を上げており、本市においても災害時の情報収集や行方不明者の搜索、人が立ち入れない場所の確認などに活用してまいりたいと考えております。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

11月に東京で開催された「安全・安心の道づくりを求める全国大会」に出席し、地元選出国會議員などへ、生活関連道路の整備に係る要望活動を行いました。

新見駅周辺まちづくりににつきましては、本年4月に新見駅周辺まちづくり検討委員会からご報告をいただいた基本構想（案）を、庁内全体で精査・調整を行い、9月に「新見駅周辺まちづくり基本構想」を策定いたしました。

基本構想の原案は、市民の皆様が主体となって、ワークショップやアンケートなどを通じて意見を取りまとめ、作成されたものでありますので、基本構想もその内容を尊重させていただきました。

今後は、本構想に基づき、「新見駅周辺地域のまちづくり」を推進していくことにより、都市機能の充実やにぎわいの創出を図ってまいりたいと考えております。

公共交通につきましては、利便性が高く持続可能な交通体系を構築するため、10月3日から千屋・神郷地域において、予約型乗合タクシーの実証運行を開始しております。

乗合タクシーは、希望する時間に、自宅までの送迎を可能としていることから、便利になったとの声を伺っており、特に、バス停から自宅までが遠い市民の方から好評であり、手ごたえを感じているところであります。

年度内にアンケート調査を実施し、効果を検証してまいりたいと考えております。

次に、「環境」についてであります。

本年3月に、本市と株式会社ガットとの間で締結いたしました「ゼロカーボンの実現に向けた連携協定」に基づき、10月から株式会社ガットが新見市学校給食センターへの太陽光発電設備設置工事に着手されました。来年4月から給食センターと新見南認定こども園に電力供給が始まる予定であり、再生可能エネルギーの利用促進と非常時の電源確保につながるものと期待しております。

次に、「交流・コミュニティ」についてであります。

移住定住の推進につきましては、9月以降、東京と大阪で開催された移住相談会に、本市職員と新見市移住交流支援センターの職員が参加し、相談に応じるとともに、本市の魅力をPRしてまいりました。

引き続き、様々な機会を通じて移住を推進してまいります。

地域運営組織につきましては、新たに哲西町大竹地域と八鳥地域、哲多町蚊家地域で設立され、現在16組織が活動されております。引き続き、地域運営組織の設立やその活動のための支援を行ってまいります。

本市の政策的な方針等について調査審議いただく「まちづくり審議会」につきましては、10月に第8期目となる委員を委嘱させていただきました。本年度は「新見市行財政改革大綱」について諮問し、ご審議いただいているところであります。

次に、「広聴・広報」についてであります。

9月27日から10月7日までの期間、各支局単位の5会場で、市政懇談会「市長とフリートーク」を開催いたしました。

今年度はテーマを「移住・定住」と定めて実施したところ、市民の皆様から、建設的なアイデアやご提言をいただくことができました。市政の活性化につながる有意義な懇談会が実施できたと考えております。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしました。引き続き市政の推進にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。